旭 自治会　だより

令和６年１月１日　第71号 発行 旭自治会
ＴＥＬ：０７７１－２２－５５３３
ＨＰアドレス：kameoka-asahi.com（ＱＲコード）

新年のごあいさつ

新年、明けましておめでとうございます。
旭町の皆様には、ご健勝にて令和６年元旦をお迎えのことと、謹んでお慶びを申し上げます。
旧年中は、旭町自治会の運営に対しまして、深いご理解と温かいご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと長く続いたコロナ感染症の対策が緩和され、亀岡市も恒例の行事の多くが再開されました。旭町においても、４月には初めての「花を楽しむ会」、夏には４年ぶりに「納涼ふれあい祭」、そして各区でも夏祭りの再開、秋には「敬老祝会」、「サンガスタジアムのサッカー応援」、１１月の「旭町秋ＦＥＳＴＡ2023」と、それぞれ開催ができましたことは、町民の皆様や各種団体役員・委員の皆様のご協力のおかげと、改めて感謝申しあげます。

今回の行事の再開においても、コロナの３年の期間に町内のコミュニティのあり方にも影響し、子供の減少や高齢化と相まって、恒例行事の再開にも今までとは異なる運営変更を余儀なくされたものもありましたが、それぞれに多くの皆様のご参加をいただきましたこと、改めて感謝を申し上げます。

また、今年で４年目を迎える「旭サポートカー」の運営につきましても、毎週２日の稼働とし多くの利用者がありましたこと、安全稼働ができましたこと、それぞれに活動いただきました委員の皆様をはじめご協力いただいた方々に厚くお礼いたします。今年も多くの皆様にご利用いただくため、ご意見をいただきながら課題整理と、さらなる安全な運営に取り組みたく、多くの皆様のご利用とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和６年今年は甲辰年、「成功の芽が成長し姿を整えていく」年、目標に向かってしっかりと努力を積み重ねることで、大きな成果が得られるとか、何はともあれ、この一年が皆様にとって良き成果の上がる年となりますよう、お祈り申し上げます。

旭町自治会長　吉　川　　肇

亀岡市青少年育成地域活動協議会　表彰　人見　敦裕さん

令和５年１２月３日「第３９回亀岡市青少年健全育成市民集会」において、旭町青少協連絡協議会　会長　人見敦裕さんが、永年にわたり会長職を務め、協議会の活動により、青少年の健全な育成にご尽力をいただいたため、その功績により「亀岡市青少年育成地域活動協議会 表彰」を受賞されました。受賞　おめでとうございました。

小型ポンプ積載車「入魂式」

消防旭分団１部２班に小型ポンプ積載車が配備されました。

旭分団に３台目となる積載車が配備され、さる１２月１６日自治会前広場において、田中分団長をはじめ消防団員、自治会、自主防災会等関係者が参列して積載車の入魂式が挙行されました。

今回、消防活動において地域町民の生命と財産を守る要として、また地域の防災に更なる機動力の充実を確保するため、亀岡市から配備されたもので、当日はその消防機材への入魂と、消防団員活動の安全を祈願するため、松本宮司を祭主として式典が行われました。

これを機に、さらに旭町の防災にご活躍されることとご期待いたします。

「歌声広場 あさひ」クリスマスパーティー

「歌声広場 あさひ」では、毎月第４水曜日　午後１時30分から旭コミュニティセンターで活動しています。12月20日（水）にはクリスマスパーティーが開催され、参加者たちは楽しそうに大きな声で歌い、手拍子で楽しまれていました。スタッフの一人はサンタクロースに扮し、会場を盛り上げました。

通常の活動では、皆でカラオケを楽しんだり、ハンドベルを練習したりしています。歌声広場 あさひは、楽しく歌える場所であり、これからも集まり続けられる場所として願っています。

【活　動　詳　細】

- 日時:　毎月第４水曜日　　午後１時30分 ～ 午後３時15分
- 場所:　旭コミュニティセンター

※歌声広場あさひ サポートカーが送迎します。

これからも、歌声広場あさひが地域の皆さんにとって楽しい場であり続けることを願っています。

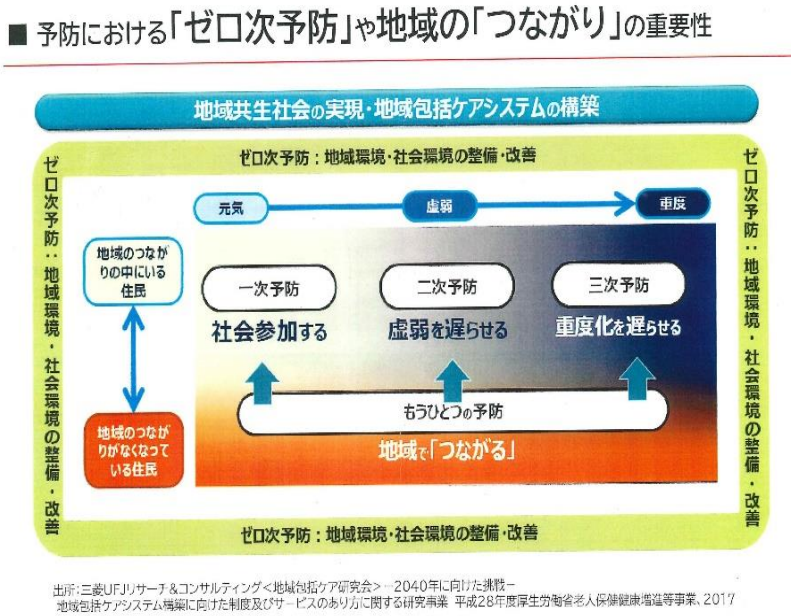
主な行事予定

令和６年１月４日（木）まで	自治会　年始休館
１月５日（金）	午前中のみ
６日（土）	なごみの里あさひ　通常営業　開始
７日（日）	亀岡市消防団　旭分団　出初式　午前７時から
８日（祝 月）	亀岡市　成人式　ガレリアにて
２７日（土）	川東４町合同研修会　亀岡川東学園にて　午後１時30分～午後３時
２８日（日）	なごみの里あさひ　感謝祭　　午前９時から

「ゼロ次予防」・「地域のつながり」で元気な旭町を

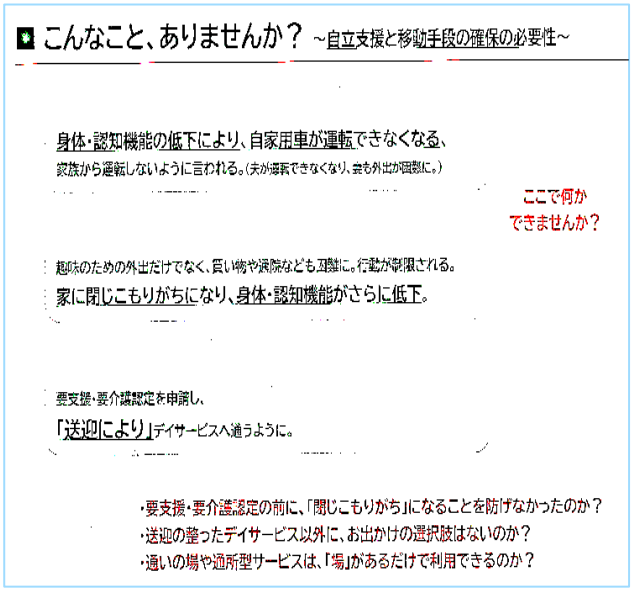
令和３年７月から、旭町で京都府・亀岡市・ディサービスセンターさくら様との協力でスタートした「旭サポートカー」 約２年半が経過し、現在は毎週火曜日（美濃田・杉）、水曜日（山階・印地）と運行し、多くの方にご利用いただいています。この２年間、役員会で様々な課題を検討し、講義も受けて改善してきました。特に、厚生労働省主催の「近畿ブロック移動支援セミナー（ZOOM）」での研修は非常に有益でした。

そこで強調されたのは、**「ゼロ次予防」と「地域のつながり」**が高齢者の「介護予防」にとって極めて重要であるということです。従来は介護認定後の対策が主体でしたが、今後は「予防重視型システム」への転換が不可欠です。「ゼロ次予防」は、高齢者が「要支援認定」になる前の支援で、フレイルの予防を目指します。運転が難しくなり、家に引きこもりがちになり、認知機能が低下して介護サービスを利用せざるを得なくなることを少しでも遅らせるための取り組みの一つが「旭サポートカー」です。



出所：三菱UFJリサーチ＆コンサルティング＜地域包括ケア研究会＞－2040年に向けた挑戦－
地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業 平成28年度厚生労働省老人保健健康増進等事業、2017

「旭サポートカー」は高齢者の足となり、「地域とのつながり」を大切にしています。引きこもりの防止からスタートし、「スーパーマーケットまで送ってもらえるなら、自分で行きたい」という意欲が「ゼロ次予防」の一環でしょう。今年、亀岡市社会福祉協議会で行われた移動支援８団体の交流会でも、「旭サポートカー」は他の団体に比べて、保険の取り決めや利用者・運転手に対する対応などで一歩進んでいるように感じました。亀岡市からも旭町がモデル地域とされ、皆さんが安心し、「旭サポートカーがあるから、住みよい町」「親の介護予防に寄与している」という言葉が共有されることを期待しています。そのためには、多くの皆さんの協力が不可欠です。



運転手についても「交通空白地有償運送運転者講習会」を受講し、利用者の安全・安心を最優先に考えて進めていきます。そしてこの事業が少しでも元気な旭町の一つになればと願っています。